

# 認知症の予防・共生を支える新産業の創出

- 認知症の予防（進行抑制）と認知症になっても自分らしく生活し続けられる共生社会の構築の両輪で施策を推進。予防については、グローバルで連携しながら、国内における認知症予防プログラムの大規模実証を通じて、技術・サービス・機器等の効果を検証するための認知機能評価指標・手法の確立を目指す。
- 共生については、認知症の人・介護者等のQOLと社会的・経済的インパクトの見える化を行いながら、様々な生活課題や介護に係るソリューション開発を促進する。

認知症  
施策

## ① 認知症の予防（進行抑制）

【認知症対策官民イノベーション実証基盤整備事業】

- ・ 令和元年度から4年間
- ・ 国立長寿医療研究センターを中心に複数フィールドで、1,000人規模の認知症予防プログラムの効果検証等を実施中

成果を踏まえ、認知症予防に資する食事・運動・認知トレーニング等のサービスを創出



## ② 認知症になっても自分らしく生活し続けられる共生社会の構築

【認知症共生社会に向けた製品・サービスの効果検証事業】

- ・ 令和2年度から3年間
- ・ MCI・認知症の人を対象に、生活課題をテーマに効果検証を行う事業者を11件採択。

成果を踏まえ、認知症の人の買い物・移動など日常生活を支援するサービスを創出

